

X-1 工事範囲について

次の項目については除外工事としてエレベータの見積りに含まれておりませんので、建築・設備工事として施工くださるようお願いいたします。

| 区分 | No. | 除外工事の内容 | 備考 |
|--------------------|-----|--|--|
| 建築 工事関係 | 1 | 十分な強度の昇降路築造・耐火処理工事および各階乗場穴あけ工事。 (インジケーター・押ボタン用穴を含みます) | ●コンクリート打ちの誤差が25mm以上ある所は、必要に応じ、はつりまたは肉付け工事を願います。 ●鉄骨構造の昇降路では、鉄骨部分の耐火処理工事を願います。 |
| | 2 | 鉄骨構造階の乗場出入口枠、敷居、インジケーター、押ボタンなどの取付用下地鋼材の設置工事。 | PC構造の場合は、インサート埋込み工事または下地鋼材を設置ください。 |
| | 3 | 各階乗場の出入口枠と壁間のモルタル詰めもしくはロックウール詰めおよび耐火処理工事。 | |
| | 4 | 乗場関係機器取付後の各階出入口周囲の壁、および床の仕上げ工事。 | |
| | 5 | 確認図と躯体が異なる場合ははつり工事。 | |
| | 6 | 中間ビーム設置工事。 | |
| | 7 | 鉄骨構造階、PC構造のレールブラケット取付用ファスナー設置工事。 | レール支持用柱となる場合もあります。 |
| | 8 | ピット内転落防止柵工事。 | 併設エレベータでピットに段差がある場合に必要です。 |
| | 9 | 通過階のある場合の非常救出口設置工事およびフェッシャープレート取付工事。 | 10mを超えない範囲で、昇降路に非常救出口（幅750mm×高さ1200mm）を設置してください。 |
| | 10 | ピット内防水工事。（必要に応じて排水設備工事を含みます。） | |
| | 11 | ピットが深い場合の埋め戻し工事。 | |
| | 12 | 昇降路と居室が隣接する場合の防音工事。 | |
| | 13 | 昇降路頂部のフック又は、吊ビーム取付工事。 | 誤差±50mm以内で設置ください。 |
| | 14 | 昇降路を壁区画するための防火設備の設置。 | 当社の遮煙エレベータ乗場ドア採用の場合は不要です。 |
| 設備 工事関係 (電気) | 1 | エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・クーラー用電源（クーラーありの場合）・接地線の引込みならびに、つなぎ込み工事。 | 電源電圧の変動は+2%から-2%以内。電圧不平衡率は5%以内。 |
| | 2 | エレベータ用自家発電電源の供給工事。（自家発時管制運転のある場合） | |
| | 3 | 昇降路外のインターホン・警報装置配管配線工事。 | |
| | 4 | 昇降路外の監視盤用配管配線工事。 | |
| | 5 | 監視盤操作電源の監視盤までの引き込み工事。 | AC/GCまたは無停電電源としてください。 |
| | 6 | 買電、自家発電電源識別用無電圧接点の信号線の引き込み工事。 (自家発時管制運転のある場合) | |
| | 7 | ピット内点検用コンセント設置工事。 | 容量100V 10A |
| | 8 | 昇降路頂部の煙感知器の設備工事。 | |
| | 9 | エレベータ遠隔保守監視用電話回線（電話中継盤からエレベータ制御盤まで）の配管配線工事。 | 呼び線含みます。 |
| | 10 | 医療機器、放送用機器、コンピュータ機器などの電源と、エレベータ動力用電源の電源系統分離工事。 | |
| | 11 | 遮煙エレベータ乗場ドアを設置する場合、自動火災報知機からの火災報知信号（エレベータ制御盤まで）の配管配線工事。（自動火災報知設備を必要としない建物であっても必要です。） | |
| 仮設 工事関係 | 1 | 据付工事用現場詰所および材料置場を無償貸与願います。 | |
| | 2 | 据付工事用仮設電源、および試運転調整用電力等は無償支給願います。 | 動力および照明用電源共、本設電源配管経路で引込みください。 |
| | 3 | 据付工事用砂、セメント、水等は無償貸与願います。 | |
| | 4 | 工事中の囲いを施工願います。 | |
| | 5 | エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。 | 必要に応じて穴あけ工事およびその復旧工事を含みます。 |
| | 6 | エレベータを工事用として使用される場合は、別途ご用命ください。 | |
| | 7 | 仮設使用をする場合の出入口およびかご内養生工事。 | |
| 注意 事項 | 1 | 昇降路には、他の用途の配管、ダクト等が露出しないように願います。 | |
| | 2 | 昇降路は、有害ガスや甚だしい塵埃などが入らないようにしてください。 | |
| | 3 | 昇降路および出入口は風雨にさらされたり、塩分の影響を受けないようにしてください。 | |
| | 4 | 出入口には直射日光が当たらないようにしてください。 | |
| | 5 | 昇降路内の温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください。（必要に応じて昇降路に換気設備を設置願います。） | |

⚠安全に関するご注意

この設計資料に掲載した内容は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

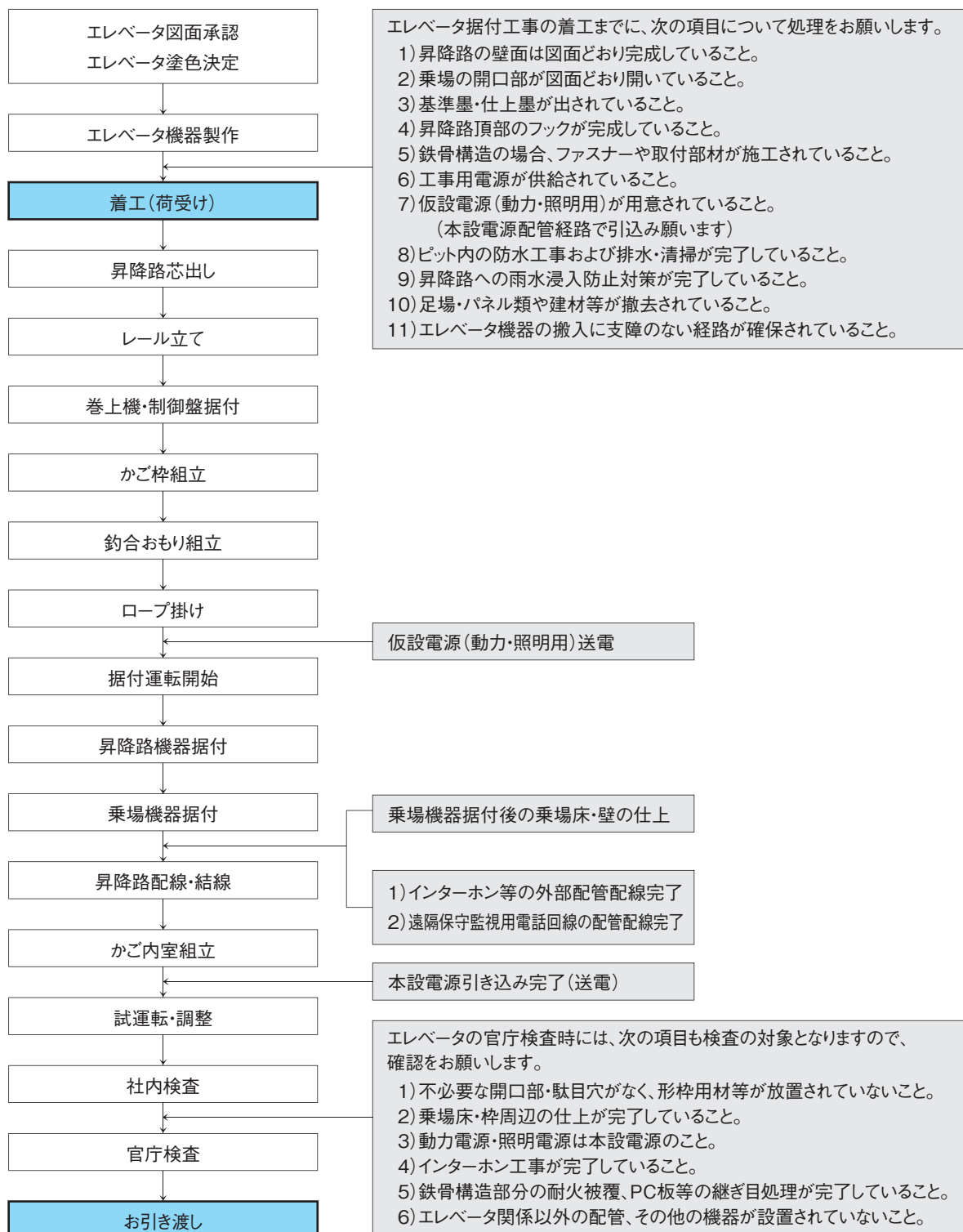
- 法令を遵守してください。
- ご使用前に管理・取扱説明書および操作説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

X-2 据付工程

2-1 積載1000kg以下

下図に積載1000kg以下の標準据付工程を示します。据付並びに工事区分・施工時期についてご理解・ご協力をお願いいたします。
なお、据付工程は機種・昇降行程・仕様等により異なる場合がありますので、詳細については別途ご相談ください。

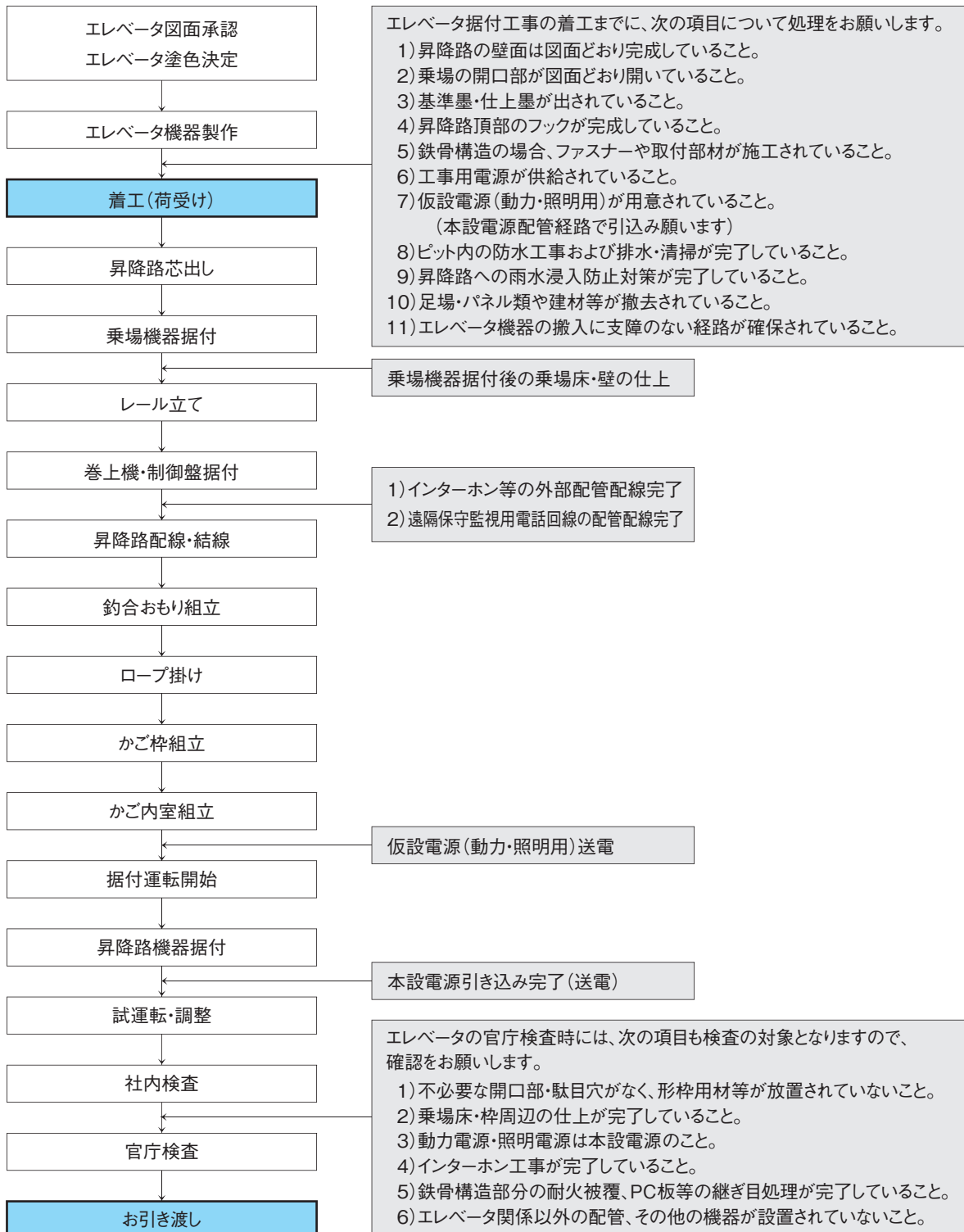
除外工事



2-2 積載1000kg超

下図に積載1000kg超の標準据付工程を示します。据付並びに工事区分・施工時期についてご理解・ご協力をお願いいたします。
 なお、据付工程は機種・昇降行程・仕様等により異なる場合がありますので、詳細については別途ご相談ください。

除外工事



仕様一覧表

機能一覧

| 項目 | 仕様 | 内容 | P乗用、R住宅用、S人荷共用 | B寝台用 | F荷物用 | 備考 |
|------|-----------------------------------|---|----------------|------|------|--|
| 運転方式 | 乗合全自動方式 (SC) | エレベータは登録されている複数の呼びに順次応答します。 | ● | ● | ● | F荷物用はシングルオートマッチック (単式自動方式) 仕様にも対応可能です。 |
| | 群乗合全自動方式 (2SC) | 2台のエレベータが連携し、乗場の呼びを効率良くサービスします。 | ■ | ■ | — | — |
| | 群管理方式 (GSO) FLEX-NX100 | 複数のエレベータを効率良くサービスします。各エレベータの位置や運転方向から最適なエレベータを割り当てます。 | ■ | ■ | — | — |
| | 群管理方式 (GSO) FLEX-NX202 | 建物の交通需要を時間ごとに学習し、将来発生する利用者の待ち時間も仮想的に評価して、より効率的な群管理制御を行います。 | ■ | ■ | — | — |
| | 行先階登録システム [EZ-SHUTTLE] (イージーシャトル) | 利用者が乗場で行先階を登録することにより、効率的なエレベータの運行制御をする次世代のエレベータ群管理システムです。 | ■ | ■ | — | — |
| | 専用運転 | 任意の階に直通運転をします。 | ■ | ● | ★ | F荷物用のシングルオートマッチックは適用外です。 |
| 表示機能 | かご内液晶インジケータ | 8.4インチの液晶インジケータを搭載します。 | ● | ● | ● | 青 (グラデーション有り) の標準背景色に加え、有償付加仕様の意匠バリエーションとして、赤・黄・グレー (グラデーション有り) と、黒・グレー (グラデーション無し) があります。 |
| | 情報モニター | かご内の液晶インジケータ下に8.4インチの液晶モニターを設置し、時事通信社のニュースと日本気象協会の天気予報を配信します。 | ■ | ■ | — | 配信サービスには別途契約が必要です。 |
| | 混雑度表示 | かご内の乗車状況を乗場インジケータに表示します。エレベータ到着前に乗場からかご内の乗車状況を把握することができます。 | ★ | ★ | — | デジタルインジケータは適用外です。 |
| 地震対策 | 地震時リスタート運転機能 | 地震時管制運転中に地震の揺れで安全装置が作動し、エレベータが停止しても、エレベータの安全を確認すると地震時管制運転を再開します。 | ● | ● | ● | — |
| | P波センサー付き地震時管制運転 [ウェイビック-P] | 地震の初期微動をキャッチし、エレベータを最寄り階に速やかに到着させ、ドアを開きます。利用者の閉じ込めや機器の損傷を防ぎます。 | ● | ● | ● | 7m以下の場合は標準装備仕様。 |
| | 緊急地震速報連動管制運転 | 気象庁から配信される「緊急地震速報」をエレベータと連動させ、本震が到達する前に自動的に最寄り階へ停止させ、ドアを開きます。 | ■ | ■ | ■ | 緊急地震速報受信解析装置の設置および配信サービス契約は当社工事範囲外です。別途手配ください。 |
| 停電対策 | 停電時自動着床装置 [ランディック] | 停電によりエレベータが停止しても、バッテリー電源でエレベータを最寄り階へ到着させ、ドアを開きます。かご内停電灯と液晶表示、音声案内があり利用者も安心です。 | ● | ● | ● | — |
| | 自家発電時管制運転 | 停電時に自家発電源を使用して、エレベータを帰着階に呼び戻し待機させたり、継続運転させることができます。 | ■ | ■ | ■ | 自家発電源は当社工事範囲外です。別途手配ください。 |
| 火災対策 | 火災時管制運転 | エレベータが火災信号を受信すると、液晶表示と音声で案内しながら、避難階に到着させ、ドアを開きます。 | ★ | ★ | ★ | 火災発生信号は除外工事となります。 |
| | 遮煙エレベータ乗場ドア [スモークタイト] | 乗場ドアと枠、敷居のすき間を特殊気密材で密閉し、乗場ドアに遮煙性能を持たせます。 | ■ | ■ | ■ | 遮煙エレベータ乗場ドアの設置には、停電時自動着床装置と火災時管制運転の設置が必要です (認定条件による)。 |

| 項目 | 仕様 | 内容 | P乗用、R住宅用、S人荷共用 | B複台用 | F荷物用 | 備考 |
|-----------|--|---|----------------|------|------|--|
| 水害対策 | 冠水時管制運転 | 水害などでピット部（最下階床面から昇降路底までの部分）が浸水（冠水）する場合に、ピット内フロートスイッチが水量を検知し、エレベータを最下階以外の最寄り階でドアを開きます。 | ★ | ★ | ★ | — |
| | 最寄り階救出運転 | エレベータが停止階の間で停止した場合、エレベータの安全を確認した上で、自動的に最寄り階まで低速運転し、ドアを開きます。 | ● | ● | ● | — |
| その他運転機能 | ドア開放不能時救出運転 | ドアを開くことができない場合、他の階へ自動的に救出運転を行い、ドアの開放を試みます。 | ● | ● | ● | — |
| | 乗り過ぎ検出（警報音、音声案内） | 乗り過ぎを検出した場合にかご内の警報音、音声案内にて降車を促します。乗り過ぎが解消されるまで、ドアは閉まりません。 | ● | ● | ● | F荷物用は警報音のみです。 |
| | 満員通過 | かご内が満員である場合、途中の乗場呼びには応答せず、かご呼びにのみに応答して走行します。 | ★ | ★ | — | — |
| 運転操作 | いたずら呼びキャンセル | いたずらと推測されるかご呼びボタンの操作があった場合、その操作を無効とするとともに、既に登録されたかご呼びを取り消します。 | ● | ● | ● | — |
| | タイマー自動休止 | 夜間や休日などあらかじめ指定した時間帯に自動でエレベータを休止させます。 | ■ | ■ | ■ | — |
| ドア周りの安全機能 | セーフティードアリターン | ドアの開閉途中で物などが挟まれた場合、素早くドアが反転します。 | ● | ● | ● | — |
| | ドア開き警報 | エレベータの走行中にかご内の利用者がいたずらで無理にドアを開けようとした場合、警報音を鳴らして注意を促します。 | ● | ● | ● | — |
| | カードアポケットセンサー | 戸袋部やドア重なり部に赤外線ビームを照射し、ドアに近づく利用者の手や荷物を検知すると、一旦ドアを停止し、ゆっくりドアを開きます。 | ★ | ★ | — | ドア寸法によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。 |
| | 光電式ドアニック | 乗場側に向けて赤外線ビームを照射し、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。 | ★ | ★ | ■ | ドア寸法によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。また、画像認識ドアニックとの併用はできません。 |
| | 光電式多光軸センサー | 出入口に赤外線ビームを照射し、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。 | ★ | ★ | ■ | ドア寸法によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。また、2光軸ドアセンサーとの併用はできません。 |
| | 2光軸ドアセンサー | 出入口の赤外線センサーで、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。 | ■ | ■ | ■ | 光電式多光軸センサーとの併用はできません。 |
| | 画像認識ドアニック | 利用者の移動方向や行動を分析し、ドアが閉まりかけている時にエレベータに乗り込む人を検知すると、ドアを開きます。 | ■ | ■ | — | 建物状況によっては設置できない場合があります。また、光電式ドアニックとの併用はできません。 |
| | ドアエッジセンサー | ひもやコードを検知し、ドアを反転して開きます。 | ■ | ■ | — | ドア寸法に制限がありますので、詳細は当社にご相談ください。 |
| ドアウインカー | ドアが閉まるタイミング、開くタイミングを、かご内の幕板に設けたLEDの点滅でお知らせします。 | ■ | ■ | — | — | |

仕様一覧表

機能一覧

| 項目 | 仕様 | 内容 | P乗用、R住宅用、S人荷共用 | B寝台用 | F荷物用 | 備考 |
|----------|--------------------------|--|----------------|------|------|---|
| セキュリティ機能 | 各階強制停止運転 (各停運転) | エレベータの悪用を防止するため、目的階までの各階でドアの開閉を行う設定ができます。 | ● | ● | — | — |
| | パーキングスイッチ | 夜間や休日などエレベータを使用しない場合、休止することができます。 | ★ | ★ | ★ | — |
| | かご内暴れ行動検出 | かご内の暴れを検知すると音声で注意喚起します。激しい暴れであれば最寄り階へ到着後、所定時間運転休止となります。 | ■ | ■ | — | 建物状況によっては設置できない場合があります。詳細は当社にご相談ください。 |
| | 防犯モニター | かご内に取り付けた小型カメラからの映像を液晶モニターで常時映し出します。 | ■ | ■ | — | — |
| | 防犯運転 | 利用者がかご内の「インターホン呼びボタン」を押すと、所定時間、ブザーを鳴らすとともに目的階まで各階停止で運転します。 | ■ | — | — | R住宅用は標準装備仕様。 |
| | かご呼び暗証番号登録 | 特定階に対してあらかじめ設定した暗証番号を知っている人だけが、その階のかご呼び登録を行うことができます。 | ■ | ■ | ■ | — |
| | かご内防犯カメラ [NEWセキュリアV] | エレベータ専用のかご内防犯カメラです。人感センサーでかご内の人を検知して録画します。 | ■ | ■ | ■ | — |
| | セキュリティシステム 連動運転 | 建物共用部のセキュリティと連動運転が可能です。 | ■ | ■ | — | 共用部セキュリティは当社工事範囲外です。別途手配ください。 |
| | 防犯窓 | 乗場ドアとかごドアにガラス窓を設けます。 | ■ | ■ | — | E非常用は適用外です。 |
| | セキュリティ運転 | あらかじめ指定された階にエレベータを停止させない、またはエレベータを呼べないようにします。 | ■ | ■ | ■ | — |
| 音声機能 | かご内音声案内装置 「ボニック」 | かご内の利用者にアナウンスを行います。 | ● | ● | — | 基本仕様の適用範囲は標準メッセージのみです。 |
| | 多言語対応音声案内 (ボニック)・文字表示 | 通常時は日英の2カ国語、緊急時は日英中韓4カ国語でかご内の利用者にアナウンスを行います。文字も同様に表示します。 | ● | ● | — | 緊急時の中国語表示は繁体字と簡体字。 |
| | 走行お知らせ音 | エレベータ走行中に途中階通過のタイミングでサイン音を放送します。 | ● | ● | — | 停止数が2カ所の場合は放送できません。BGMがある場合やアナウンスが多い場合は対応できない場合があります。 |
| ボタン機能 | かご・乗場ボタン 発音機能 | ボタンを押すと電子音でお知らせし、ボタンの登録が有効になっていることを確認できます。 | ● | ● | ● | テンキータッチパネルと大型タッチパネルに本機能はありません。 |
| | タクトイルボタン | 凹凸で数字や表示をくっきり浮き立たせたボタンです。 | ● | ● | ● | F荷物用で操作方法がシングルオートマチックの場合は、当社にご相談ください。 |
| | 大型「開」ボタン | 他のボタンよりサイズを大きくした操作しやすい開ボタンです。 | ● | ● | ● | — |
| | カラー区別ボタン | 開ボタンとインターホン呼びボタンを認識しやすいよう、他のボタンの色と区別しています。 | ● | ● | ● | — |
| | ドア開き延長ボタン | ドアの開放時間を延長します。 | ■ | ● | ★ | シングルオートマチックは除く。 |

| 項目 | 仕様 | 内容 | P乗用、R住宅用、S人荷共用 | B寝台用 | F荷物用 | 備考 |
|------------|-------------------------|--|----------------|------|------|---|
| ボタン機能 | 応答灯付きインターホン呼びボタン | ボタンを押すとマークが点灯し、通話可能になると点滅します。 | ■ | ■ | — | — |
| | 点字プレート | かご操作盤や乗場ボタンに点字を付けることができます。 | ■ | ■ | — | — |
| | 大型ボタン | 高齢者や身体にハンディキャップのある方でも、操作しやすい大きなボタンです。 | ■ | ■ | ■ | — |
| ユニバーサルデザイン | 敷居すき間10mm | 乗場とかごの敷居のすき間を10mmに縮小しました。 | ● | ● | ■ | 最小階高に制限があります。F荷物用は30mmが基本仕様となります。分速120mとE非常用は適用外です。 |
| | 車いす仕様 | 車いすを使用する方に配慮した仕様です。 | ■ | ■ | — | P乗用6名乗りは適用外です。 |
| | 2色タイル | かご床タイルを敷き分けて、車いすなどの乗降をスムーズにします。 | ■ | ■ | — | — |
| | フルハイトミラー | かご背面に設置する床面から天井までのミラーです。車いすの方が安心して乗降できます。 | ■ | ■ | — | — |
| クリーン機能 | 抗菌ボタン | 素材に抗菌性樹脂が練り込まれたボタンです。 | ● | ● | ● | タクトイルボタンのみ対応。 |
| | プラズマクラスターイオン発生装置「イオンフル」 | エレベータの換気装置にプラズマクラスターイオン発生装置を組み込み、かご内の空気を快適にします。 | ● | ● | ■ | 天井ファン（F荷物用は有償付加仕様）またはクーラー設置の場合のみ可。 |
| | クーラー | かご内室温の上昇を抑えます。 | ★ | ★ | — | P乗用6名乗り、B寝台用の一部の天井タイプは適用外です。E非常用は有償付加仕様です。詳細は当社にご相談ください。設置には、建築設備として昇降路に換気設備の工事が必要な場合があります。 |
| | ペットボタン | ペットが同乗していることを各階の乗場に表示するボタンです。ボタンはかご内に設置されます。 | ■ | — | — | — |
| | 森林浴消臭装置 | 植物由来の香り成分の働きで、かご内の空気中の臭い物質を中和・消臭します。 | ■ | ■ | — | クーラーとの併用はできません。 |
| | 手垢対策 | 指紋の跡が付きにくい特殊コーティングをエレベータのステンレス部分に施します。 | ■ | ■ | ■ | — |
| | 非接触呼び登録 | 行先階ボタンに手をかざすと、赤外線センサーが遮光され、呼び登録される操作盤です。 | ■ | — | — | R住宅用、E非常用は適用外です。かご内はかご副操作盤への設置に限定します。また、設置スペースに制約があるため、詳細は当社にご相談ください（制約の例：最大停止数は6停、非常呼びボタンと開閉ボタンは押しボタン式）。 |
| 環境配慮機能 | 天井LED照明 | かご天井の照明にLED照明を採用します。 | ● | ● | ● | カタログ掲載の天井タイプ以外につきましては制限があります。 |
| | シックハウス対策 | かご内で使用する材料は、シックハウス対策に対応しています。 | ● | ● | ● | — |
| | かご照明とファンまたはクーラーの自動休止 | かご内に利用者がいないとき、自動的に照明、ファンまたはクーラーを停止させて電力消費を節減します。 | ● | ● | ● | F荷物用は天井ファン設置の場合のみ適用。 |
| | 回生システム | エレベータの運転時に発生した回生電力を、建物内の他の電気設備に有効利用します。 | ■ | ■ | ■ | 建物の電源設備によっては、設置できない場合があります。本機能の搭載に際して、昇降路寸法を広げる必要がある場合もございます。詳細は当社にご相談ください。 |

仕様一覧表

機能一覧

| 項目 | 仕様 | P乗用、R住宅用、S人荷共用 | B寝台用 | F荷物用 | 備考 | |
|---------------|--------------------|------------------|------|------|--|----------------------------------|
| 天井 | SC-01 | ● | ● | ● | — | |
| | SCD-01 | ■ | — | — | — | |
| | SCD-02 | ■ | — | — | — | |
| | SCD-03 | ■ | ■ | — | E非常用は適用外です。 | |
| | EX-11 | ■ | ■ | — | — | |
| | DX-11 | ■ | ■ | — | E非常用は適用外です。 | |
| | DX-12 | ■ | ■ | — | E非常用の場合は、当社にご相談ください。 | |
| | DX-13 | ■ | — | — | — | |
| | DX-14 | ■ | — | — | E非常用は適用外です。 | |
| | 側壁・ドア | 化粧鋼板 | ● | ● | ● | 天井をカタログ記載寸法より高くする場合は、当社にご相談ください。 |
| | | 鋼板塗装 | ■ | ■ | ■ | — |
| | | ステンレス | ■ | ■ | ■ | F荷物用はヘアライン仕上げのみ対応となります。 |
| | | 鋼板化粧シート貼り | ■ | ■ | — | — |
| | 袖壁 | ステンレスバイブレーション仕上げ | ● | ● | — | — |
| ステンレスヘアライン仕上げ | | ■ | ■ | ● | — | |
| 鋼板塗装 | | — | — | ■ | 入口柱（ステンレスヘアライン仕上げ）付きとなります。 | |
| 幅木 | アルミアルマイト仕上げ | ● | ● | ● | F荷物用は荷重条件によって、幅木なしの場合があります。 | |
| | ステンレスヘアライン仕上げ | ■ | ■ | ■ | — | |
| ガード | ステンレス製スタッド固定式 | ■ | ■ | ■ | 通常床面から高さ300mm、F荷物用の場合は、1000mmとなります。 | |
| 床 | ビニールタイル | ● | ● | — | — | |
| | ゴムタイル | ■ | ★ | ● | 振動に弱い荷物の運搬、また台車などの車軸が鉄製でない場合に適用してください。 | |
| | ビニールタイル（ウッド調、大理石調） | ■ | ■ | — | — | |
| 敷居 | 硬質アルミ製 | ● | ● | ● | ステンレス製は有償付加仕様。 | |
| 保護幕 | | ■ | ■ | ■ | — | |
| 床マット | | ■ | ■ | — | — | |
| 手すり | | ■ | ■ | — | — | |

| 項目 | 仕様 | | P乗用、R住宅用、S人荷共用 | B寝台用 | F荷物用 | 備考 |
|-------------|------------------------|------------------------|----------------|------|------|---|
| かご | ストレッチャー ガード | アルミ製（端部は樹脂製） | — | ● | — | — |
| | | ステンレスヘアライン仕上げ | — | ■ | — | — |
| | かご床強度増し | | ■ | ★ | ■ | P乗用、R住宅用は適用外です。 詳細は24ページ「1回に積み込める最大質量 (kg)」 をご確認ください。 |
| | フルハイトミラー | | ■ | ■ | — | — |
| かご 操作盤 | 液晶 インジケーター 搭載操作盤 | フルハイトタイプ | ● | ● | — | E非常用は平板タイプが基本仕様。 |
| | | 平板タイプ | ■ | ■ | ● | — |
| | 副操作盤 | | ■ | ■ | — | R住宅用、B寝台用は側壁に設置されます。 |
| | 車いす用操作盤 | | ■ | ■ | — | — |
| 乗場 | 杵 | 小杵 | ● | ● | ● | — |
| | | 大杵 | ■ | ■ | ■ | — |
| | | 大杵幕板付き | ■ | ■ | — | — |
| | | 大杵幕板付き面一タイプ | ■ | ■ | — | — |
| | | ストライクパネル付き小杵 | ■ | ■ | — | P乗用は適用外です。 |
| | | フロントパネル付き小杵 | ■ | — | — | R住宅用のみ適用。 P乗用、S人荷共用、E非常用は適用外です。 |
| | | ホールボタン・インジケーター 一体型杵 | ■ | ■ | — | — |
| | 敷居 | 硬質アルミ製 | ● | ● | ● | ステンレス製は有償付加仕様。 |
| | 杵・幕板・ドア | 化粧鋼板 | ● | ● | ● | 杵を2350mmより高くする場合は、当社にご相談ください。 |
| | | 鋼板塗装 | ■ | ■ | ■ | — |
| ステンレス | | ■ | ■ | ■ | — | |
| 乗場 操作表示器 | 液晶インジケーター | | ★ | ★ | ■ | F荷物用はデジタルインジケーターが基本仕様。 |
| | デジタルインジケーター | | ■ | ■ | ● | — |
| | ホールランタン | | ■ | ■ | — | 群管理方式では乗場インジケーターの代わりに ホールランタンを設置します。 |
| 乗場 操作盤 | 樹脂製 | | ● | ● | — | — |
| | ステンレス製 | | ■ | ■ | ● | — |